

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10584002				
授業名	福祉政策と社会保障 A	形態	講義	単位	2
担当教員	八田 和子				
開講学期	2025年度 前学期	曜日・時限	火曜1限		
授業目的	公共政策のなかの福祉政策の位置づけや性格の理解を目指す。また、社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎知識の習得を目的とする。				
授業内容	現代社会における福祉問題に対する理解を深めた上で、社会福祉の概念や理念および福祉政策の理論について考察する。また、社会福祉および社会保障の歴史的発展過程を踏まえた上で、社会保障制度の体系・機能・給付内容について学習する。				
到達目標	福祉政策に関する基礎理論を理解している。 社会保障・社会福祉の歴史的発展過程を理解している。 社会保障制度の体系、機能、給付内容を理解している。				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-(5)> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式を基本としながら、その中にアクティブラーニングの手法を導入する。福祉政策・社会保障の諸課題を理解するためのペアワーク、グループワークなどを実施し、学生の主体的参加や能動的学習を重視した授業を実施する。 ■外部講師を招聘する授業回について ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当します。 ※外部講師招聘日は外部講師の都合により変更となる可能性があります。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	授業内試験によって、社会保障に関する基礎的な知識の習得および諸課題の理解に対する評価をおこなうことを基本としつつ、リアクションペーパー、レポートを加味して総合的に評価する。 なお、授業内試験は各授業で随時おこなう「確認テスト」と、第14回授業（外部講師を招聘する授業の授業回が変更となった場合は、第15回授業）で行う「最終確認テスト」がある。				
評価基準	リアクションペーパー20点、レポート30点、授業内試験50点（うち確認テスト30点、最終確認テスト20点）、100点満点				
試験・レポート等のフィードバック	レポートは、授業内で講評・解説を行う。 試験は、終了後に授業内で解説し、自己採点が行えるようにする。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習は必ず行うこと。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	講義概要を読み、授業内容および到達目標を確認しておく。 酒井正『日本のセーフティーネット』の第1章を通読し、概要をまとめる
授業内容	本授業のオリエンテーションをおこなったのち、非正規雇用の増大などを背景とする貧困や格差拡大の現状を把握し、福祉政策・社会保障による保障の必要性や課題について考える。
事後学習	授業をふまえ、平岡公一他『社会福祉学』の第10章の概要をまとめる。
参考文献	酒井正『日本のセーフティーネット』慶應義塾大学出版会 平岡公一他『社会福祉学』有斐閣
第2回	
事前学習	坂田周一『社会福祉政策（第4版）』有斐閣アルマの第1章を通読し、概要をまとめる。
授業内容	福祉および社会福祉の狭義・広義の意味を確認した上で、公共政策の中にある福祉政策の位置づけをおこなう。また、日本で用いられている「社会政策」の意味についても整理する。
事後学習	授業をふまえ、坂田周一『社会福祉政策（第4版）』有斐閣アルマの第2章の概要をまとめる。
参考文献	坂田周一『社会福祉政策（第4版）』有斐閣アルマ
第3回	

事前学習	武川正吾『福祉社会（新版）』有斐閣アルマの第2章を通読し、概要をまとめる。
授業内容	福祉政策では、市場による財やサービスの分配とは異なる方法で、人々の必要を充足してゆく。その際に用いられる「必要」という概念を「需要」と対比しながら、それが主観的判定とともに客観的判定を伴うことを学ぶ。
事後学習	「必要」と「需要」について具体例をあげながらその違いをまとめる。
参考文献	武川正吾『福祉社会（新版）』有斐閣アルマ

第4回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマの第8章第1節を通読し、概要をまとめる。 里見賢治『現代社会保障論（改定新版）』高学出版の第1章第2節を通読し、概要をまとめる。
授業内容	各国の社会保障制度の歴史を概観し、福祉国家の成立と展開過程について学習する。また、福祉国家の類型論についても触れる。
事後学習	各国の社会保障制度の歴史を概観し、異同をまとめる。
参考文献	金子光一『社会福祉のあゆみ』有斐閣アルマ 棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ 里見賢治『現代社会保障論（改定新版）』高学出版

第5回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ第8章の該当箇所を通読し、概要をまとめる。
授業内容	日本の社会保障制度の成立・展開過程および福祉政策の変遷を概観する。前回授業とも合わせ、福祉政策および社会保障制度が歴史の所産であることを理解する。
事後学習	日本の社会保障制度の展開過程を、前回授業で取り上げた諸外国のそれとを比較しながらまとめる。
参考文献	金子光一『社会福祉のあゆみ』有斐閣アルマ 棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ 里見賢治『現代社会保障論（改定新版）』高学出版

第6回	
事前学習	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣の第16章を通読し、概要をまとめる。
授業内容	社会保障制度の体系について学び、各制度（社会保険、社会手当、公的扶助、社会福祉サービス）の機能や保障方法、財政システム等の違いを理解する。
事後学習	社会保障各制度（社会保険、社会手当、公的扶助、社会福祉サービス）の異同についてまとめた一覧表を作成する。
参考文献	平岡公一他『社会福祉学』有斐閣 棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ

第7回	
事前学習	「年金の将来が不安なので、貯蓄だけでやっていく」という考え方に対する自分の意見をまとめる。
授業内容	老後の備え方（公的年金と貯蓄）に関する意見を発表してもらった上で、公的年金の意義と役割について学ぶ。また、年金財政検証についても学び、老後の所得保障の課題について考察する。
事後学習	公的年金の意義と役割についてまとめる。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ 里見賢治『新年金宣言』山吹書店

第8回	
事前学習	公的年金制度の概要をまとめる。
授業内容	公的年金制度（国民年金・厚生年金）の保険者・被保険者・保険給付について学ぶ。
事後学習	年金保険における負担と給付の関係、保険給付の内容について復習したことをまとめる。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ 里見賢治『新年金宣言』山吹書店

第9回	
事前学習	健康保険と国民健康保険の概要を調べる。
授業内容	日本における公的医療保険制度の特徴、体系、概要、政策課題を学ぶ。
事後学習	医療保険における自己負担、給付内容についてまとめる。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ

第10回	
事前学習	介護保険制度の概要について調べる。

授業内容	日本における介護問題と介護保障政策の変遷を取り上げ、介護サービス提供システムがどのように変化したのかを学ぶ。
事後学習	日本の介護保障システムの課題について考えをまとめる。
参考文献	坂田周一『社会福祉政策（第3版）』有斐閣アルマ 里見賢治『現代社会保障論（改訂新版）』高学出版

第11回	
事前学習	雇用保険の保険給付の中で関心をもったものを取り上げ、その概要をまとめる。
授業内容	雇用保険の概要（保険者・被保険者・保険給付）について学ぶ。
事後学習	雇用保険が直面している財政的課題について新聞記事等を調べ、まとめる。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ

第12回	
事前学習	業務災害、通勤災害とは何かについて調べる。
授業内容	労働者災害補償保険について、他の社会保険にはない特徴を踏まえた上で、その概要を学ぶ。
事後学習	労働者災害補償保険の保険給付についてまとめる。
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』有斐閣アルマ

第13回	
事前学習	生活保護制度について調べる。
授業内容	現代の日本社会が抱える貧困問題を取り上げ、生活保護制度の概要および社会保障制度のナショナルミニマム保障機能について学習する。
事後学習	自分の世帯の最低生活費を算出してみる。
参考文献	稲葉剛『生活保護から考える』岩波新書 岩永理恵他『生活保護と貧困対策』有斐閣

第14回	
事前学習	参考文献、レジュメ、資料を復習し、要点をまとめる。
授業内容	福祉政策・社会保障に関する基礎的な知識および諸課題の理解に関する学習目標の達成度をはかる授業内試験（最終確認テスト）を実施する。 試験終了後に正答の発表および解説をおこなう。 授業内試験未受験者は、公認欠席などやむを得ない理由の者に限り、別途個別に対応する。
事後学習	これまでの授業をふまえ、福祉政策・社会保障に関するテーマを設定してレポートを作成する。
参考文献	授業で提示する。

第15回	
事前学習	参考文献を読み、文献の感想文を作成する。また、外部講師への質問事項をまとめておく。
授業内容	外部講師（垣見一雅氏） 国際福祉について学ぶ。先進国だけでなく途上国にも目を向け、日本の国際支援の実際（貧困問題の解決、教育支援、地域開発等）について考える。外部講師は、90分の授業の一部分のみを担当する。
事後学習	日本社会への示唆や市民レベルでの国際協力についてまとめる。
参考文献	垣見一雅『からっぽがいいーネパールの山奥を歩き続けたリュック一つでNGO、OKバジ』サンパテック・カフェ 垣見一雅『OKバジー村人に魅せられ、ネパールの山奥に住みついたひとりの日本人』サンパテック・カフェ

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><大DP-1>【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】</p> <p><大DP1-（1）>日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。</p> <p><大DP1-（2）>情報リテラシーや数量的スキルを修得している。</p> <p><大DP1-（3）>課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。</p> <p><大DP1-（4）>自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。</p> <p><大DP1-（5）>人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。</p> <p><大DP-2>【専門教育分野における知識・技能・能力】</p> <p><大DP2-（1）>自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。</p> <p><大DP2-（2）>修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。</p>
-----------	--

